

“正規ルートなら大丈夫”

八代保健所 魚の仕入れを厳重監視

八代保健所では最近釧路北郡田浦町方面から水俣病にかゝった魚を八代市に持ち込み売りさばくという情報があるところから七日坂本所長小田衛生課長ほか係員二人と魚市場柴崎社長ら五人、それに食品協

会から二人の十一人が水俣保健所を訪れ、午前十時すぎから水俣病の発生および袋湾一帯の汚染状況について説明を聞いた。このあと一行は午後一時から汚染海域をはじめ水俣川の魚類調査を行なった

この結果汚染海域では魚をとるものは全く見受けられなかったが、魚市場側では今後の対策として正規のルート以外の仕入れは絶対やらないことにし水俣病らしい魚は取扱わない方針を決め、保健所としてもルート外からの仕入れについて厳重監視することになった。